



南犬飼中だより

建学の精神「向い原魂」

- 物事をまじめに根気よく続けよ
- 自発的実践活動を続けよ

日ごとに寒さが増していますが、生徒達は寒さに負けず、毎日元気に過ごしています。さて、12月には別名『師走』と言います。旧暦の12月を指す言葉でしたが、今では、新暦の12月のこととして普通に用いられています。『師走』には諸説があるようですが、『お坊さん(師)が年末に檀家を回ってお経をあげるために、あちこちの家を忙しく走り回る』と解釈するのが最も有力なものと言われています。また、『師』とは『教師』のことで『学校の先生も忙しくて走り回る』などとも言われることもあります。もっとも教師である我々は、12月ばかりでなく1年中忙しいのが現状です。しかし、教師が多忙で追い回され走っている、質の高い教育は提供できません。生徒達にも悪影響です。『忙』は『心がなくなる』とよく言われます。私たち教師は、12月でも忙しさに振り回されるのではなく、普段と変わらぬ姿で生徒達に接し、きめ細かく関わっていくことが大切であると考えています。

【職業人による講話】

11月24日(金)の5、6校時、1年生の総合的な学習の時間で、「夢の実現に向けて」というテーマのもと、職業人による講話を実施しました。講話をしてくださったのは、栃木小松フォークリフト代表取締役会長の橋本恵氏、株式会社開倫塾代表取締役社長の林昭夫氏、株式会社 AID Design(アイディ)代表取締役の田村晃氏、三信電工株式会社代表取締役の名村史絵氏、株式会社ローラン代表取締役社長の羽石和樹氏、株式会社朝日広告社経営企画室長の高山英男氏の6名です。さすがは実社会の多方面でご活躍されている皆さんの話は、その言葉一つ一つに重みと実感が込められており、食い入るように聞いている生徒達がとても印象的でした。その中で、「見出しなみ」の話がありました。「なぜ私達は、身だしなみを整えるようにしているか」という問いかけに、生徒は、「見られて恥ずかしくないように、見出しなみを整えるため」などと「自分のため」というスタンスで答えていました。しかし、企業で「身だしなみを整える」ことは、「自分のため」ではなく、「相手のため」であるということでした。お客様をはじめ、相手方に不快な思いをさせないように、身だしなみを整えるのだそうです。つまり、学校の指導でも、「だらしないから、身だしなみを整えなさい」という発想をしがちです

が、大変参考になりました。講話が終了した後の質問では、時間が足りなくなるほど多くの質問が飛び交い、充実した時間を過ごすことができました。



株式会社朝日広告社経営企画室長 高山英男

【英語スピーチコンテスト最優秀賞】

11月16日(木)に開催された栃木県中学校スピーチコンテスト第2部において、本校3年3組の松原純果さんが、見事、最優秀賞に輝きました。本県各地区から選出された代表者22名の中の最優秀賞です。「Just Do It」(とにかくやってみよう)という題目で、自分のこれまでの体験から学んだことを、素直に表現した内容でした。訴えたかったのは、「何かに挑戦するとき、失敗を恐れてネガティブに考えるのではなく、実際に挑戦してみて、そこから何か得られるものが必ずあるというポジティブな考えで挑戦することの大切さ」についてです。松原さんの英語スピーチで最も感心したのは、自分の体験で得たものを、素直に英語に表現したところです。通常、英語のスピーチ内容は、日本語で構成した文章を英語に書き換えた文章で話すのが一般的ですが、松原さんの場合は、自分の想いを伝えるためのネイティブな表現を追究したところです。松原さんの想いが、自分の言葉で見事に表現され、多くの人に感銘を与えたような気がします。

【3年生租税教室】

12月6日(水)、3年生を対象に租税教室を実施しました。この事業は、納税の重要性を理解させることはもちろん、将来、納税者としての自覚を

もたせることが主な目的です。講師は、税理士の内海裕介さんです。内海さんは、壬生町在住で本校の卒業生です。この事業を実施するにあたり、本校生徒のために、丁寧な準備と細かな打合せを担当者と重ね、本番では、画像やタブレットを活用して、生徒達のありのままの意見や考えを上手に扱い、具体例を挙げながら、丁寧に説明してくださいました。生徒とのやりとりもごく自然で、気さくで陽気な内海さんの人柄もあり、50分の講義があつという間に終わってしまいました。生徒達は、税の種類が50種類近くあることを理解するだけでなく、税の徴収についての条件が変わることで、公平性の視点が変わることに基づき、税に対する関心を高めることができました。



「租税教室」様々な考えを述べる生徒達

【 ♪ 合唱発表会 ♪ 】

12月8日(金)、4年ぶりに合唱発表会を実施しました。第1学年と第3学年による発表会でした。残念ながら、第2学年は、学級休業等による影響で延期となってしまいましたが、2月の立志式のときに改めて開催する予定です。

今年度は音楽の授業の中での練習に加え、1週間限定でのクラス練習を昼休みに行いました。クラス練習が始まると、どのクラスも合唱に対する気持ちが高まり、とてもいい雰囲気でも本番を迎えることができました。本番では、各クラスの想いを歌にのせ、素晴らしいハーモニーが体育館いっぱい響き渡りました。

歌い終わった後の緊張から解き放たれた生徒のほっとした笑み、生徒の合唱を写真やビデオにと撮影する保護者、生徒の頑張りを懸命に応援する教職員の姿が印象的でした。まさに、生徒・保護者・教職員にとって幸せな時間となった合唱発表会でした。最後にサプライズで、教頭先生から、南犬飼中の「犬」と各クラスの合唱の「歌詞」を盛り込んだ、オリジナル版面の賞状が贈られました。心のこもった素敵な賞状に生徒は目を輝かせていました。

♪ 合唱発表会 ♪



校長室より

「生き方から学ぶ子供たちの姿」

子供たちはこうして生き方を学ぶそうです。

批判ばかりを受けて育った子は、非難ばかりする。敵意にみちた中で育った子は、だれとでも戦う。ひやかしを受けて育った子は、はにかみ屋になる。ねたみを受けて育った子は、いつも悪いことをしているような気持ちになる。ところが寛大な人の中で育った子は、がまん強くなる。はげましを受けて育った子は、自信を持つ。ほめられる中で育った子は、いつも感謝することを知る。公明正大な中で育った子は、正義心を持つ。思いやりのある中で育った子は、信仰心を持つ。

人に認めてもらえる中で育った子は、自分を大事にする。仲間の愛の中で育った子は、世界に愛を見つける。

教えることとは、子供たちを「認めて、褒めて、励ます」ことで子供の「可能性」や「やる気」を引き出していくことであると言われます。我々教員は日々そのことを意識して子供たちに接しています。では、我々大人たちは、いったいどんな生き方を子供に示しているのでしょうか。真剣に考えたいものです。

お知らせ

- ◆12月26日(火)～1月8日(月) 冬季休業
- ◆1月9日(火) 3学期始業式
- ◆1月10日(水) 3年実力テスト
- ◆1月15日(月) 授業参観
子育て親育ち講座
- ◆1月18日(木)、19日(金) 3年学年末テスト
- ◆1月19日(金) PTA本部役員会
- ◆1月31日(水) B日課4時間授業